

椿

椿は“厚葉樹”とか“艶葉樹”といった語源からきていると一般的に言われている。

椿という花は中国にはなく、芳椿の花は椿とは異なるそうです。色々調べると当時まだ花の名はなく遣隋使、遣唐使の時代に中国の朝廷に貢物とし椿油を持って行ったとき、海から渡ってきた柘榴のような実と思われ“海柘榴”と言われるようになった。三輪神社の近くに“海柘榴市”（つばいち）という地名が碑として残っている。昔この地は大和朝廷と交易の場であり“市”ができ、にぎやかであったそうです。従って、この字が語源ではないでしょうか。海の近くに椿山があるのは推定ですが漁師が港々の居酒屋へ行き椿油と実をさしあげたために広まったのではないかと。

椿は日本に古くからあり中国からヨーロッパへと渡って行ったと考えられます。ポルトガルには樹齢350年の古木があり、“ジャポネイラ”の名で現存しております。もちろん椿の原産地は日本というわけではなく、中国とベトナムの国境で近年“金華茶”という黄色の椿が発見され日本にもはいつてきております。

椿の中でも寒椿というのが曲者です。サザンカは花弁が散り椿は花ごと落ちるので区別が付き易いのですが寒椿はサザンカ系と椿系とがあり区別が付きにくいものです。そこで提案です。咲時期で分けてやると判りやすいと思います。サザンカは10～12月、寒椿は12～2月、椿は2～4月とすればおおざっぱに区別できるのではないのでしょうか。